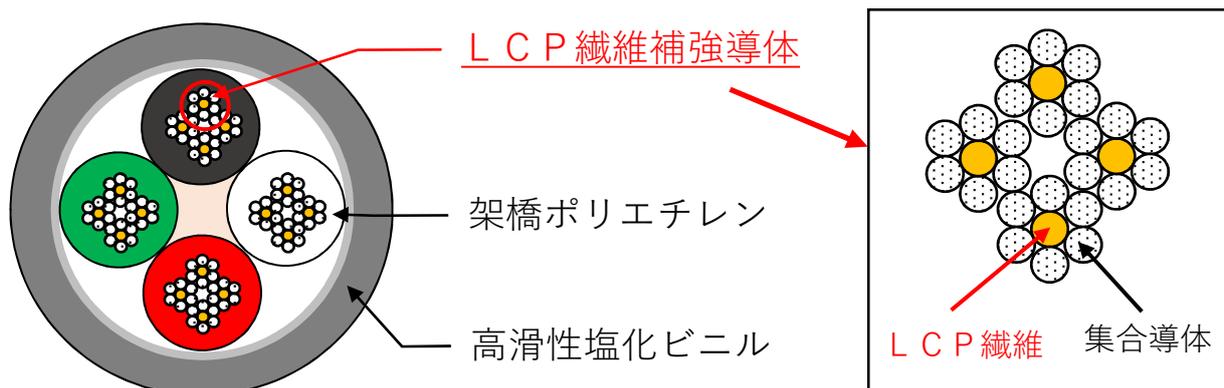


アラミド繊維より強度に優れる LCP繊維を使用した製品が 登場！

LCP繊維補強導体 ウエイトバランス式仮設用エレベーターケーブル WB-CVCT-HS 耐張力・耐しごき性キャブタイヤケーブル



LCP (Liquid Crystal Polymer) 繊維とは

液晶ポリエステル繊維と呼ばれ、従来品に使用されているアラミド繊維より強度に優れており、ケーブルの長寿命化(省資源)が図られます。

導体にLCP繊維を挿入

- ⇒BP-2PNCT(アラミド繊維を使用したケーブル)よりも耐張力が大幅に向上！
 - ・アラミド繊維の1.2倍の引張強度のLCP繊維を挿入
 - ・挿入面積が拡大できる導体より形状を採用
- ⇒BP-2PNCTに比べ、細径化、軽量化を実現

絶縁体に架橋ポリエチレン使用

⇒BP-2PNCTに比べ、耐熱性が10℃上がり(定格90℃)、許容電流値が大きくとれます

シースに高滑性塩化ビニル使用

- ⇒耐摩耗性が向上
- ⇒滑車でしごかれてもケーブルが蛇行し難くなっています



★性能比較表

	LCP繊維補強導体 ウェイトバランス式仮設用エレベーターケーブル (WB-CVCT-HS)	アラミド繊維補強導体 スターミックケーブルシリーズ 超耐屈曲性キャプタイヤケーブル (BP-2PNCT)
補強材	LCP繊維	アラミド繊維
絶縁材料	架橋ポリエチレン 90℃耐熱	エチレンプロピレンゴム 80℃耐熱
シース材料	高滑性塩化ビニル	クロロプレンゴム
耐張力 (引っ張りへの強さ)	○	△
耐しごき性	○	△
製品外径 (細さ)	○	△
製品重量 (軽さ)	○	△
耐熱性	○	△
耐摩耗性 (削れにくさ)	○	△

ウェイトバランス式とは

ウェイトバランス式は、滑車を使用したケーブルの給電方式です。
ケーブルはカゴとおもりにより常に強い張力が掛かった状態であり、滑車によってさらに負荷（大きなしごき）が掛かっています。

